

Situation 1

Tanaka-san and Sato-san are talking about their experiences with car sickness when they were children.

Dialogue

たなか こ ころ くるま の き も わる
田中：子どもの頃、車に乗るとよく気持ち悪くなりました。

さとう わたし
佐藤：私もです。あれはつらかったですね。

たなか しょうがっこう とき ねん いったい にかい りょこう の
田中：小学校の時、年に一回か二回、バス旅行があったんです。バスに乗ってるのがほんとにつらくて嫌でした。

さとう しょうがっこう の い りょこう
佐藤：うちの小学校でもありましたよ、みんなでバスに乗って行く旅行。

たなか
田中：ありましたよね？

さとう い うれ いや
佐藤：はい。どこかに行けるのは嬉しいんですけどね。バスが嫌でした。

たなか おも
田中：そうなんです。バスでなきゃいいのっていつも思っていました。

さとう りょこう の じかん なが
佐藤：バス旅行は、バスに乗ってる時間が長かったですからね。

たなか なが じかんの だいじょうぶ
田中：長い時間乗らなくていいんなら、大丈夫だったんですけどね。

さとう わたし の だいじょうぶ
佐藤：そうですよね。私もちょっと乗るだけなら大丈夫でしたよ。

Breakdown

たなか こ ころ くるま の きも わる
田中：子どもの頃、車に乗るとよく気持ち悪くなりました。

Tanaka: When I was a child, I often came to feel sick when I got in the car.

- きも わる
気持ち悪い bad feeling; feeling bad, feeling sick; disagreeable; unpleasant; gross; disgusting

さとう わたし
佐藤：私もです。あれはつらかったですね。

Sato: Me too. It was tough, wasn't it?

- つらい hard; difficult; painful

たなか しょうがっこう とき ねん いったい にかい りょこう の
田中：小学校の時、年に一回か二回、バス旅行があったんです。バスに乗ってるのがほんとにつらくて嫌でした。

Tanaka: When I was in elementary school, once or twice a year, there was a trip by bus. Riding the bus was really hard and unpleasant.

- しょうがっこう
小学校 elementary school; primary school
- いったい にかい
一回、二回、、、 once, twice...
- バス bus
- りょこう りょこう
旅行 journey, travel, trip; 旅行する to travel
- いや
嫌 unpleasant; disagreeable

さとう しょうがっこう の い りょこう
佐藤：うちの小学校でもありましたよ、みんなでバスに乗って行く旅行。

Sato: Our elementary school had them, too; trips where we all went on the bus.

たなか
田中：ありましたよね？

Tanaka: You had them as well (as I thought)?

さとう い うれ
佐藤：はい。どこかに行けるのは嬉しいんですけどね。バスが嫌でした。

Sato: Yes. I was happy to be able to go somewhere, but I didn't like the bus.

たなか おも
田中：そうなんです。バスでなきゃいいのにならいつも思っていました。

Tanaka: Right. I was always thinking that it would be fine if it wasn't by bus.

さとう りょこう の じかん なが
佐藤：バス旅行は、バスに乗ってる時間が長かったですからね。

Sato: Because with bus trips, the time riding the bus was long, wasn't it?

たなか なが じかんの だいじょうぶ
田中：長い時間乗らなくていいんなら、大丈夫だったんですけどね。

Tanaka: Although it would have been alright if we hadn't had to ride for a long time.

- だいじょうぶ
大丈夫 safe; all right

さとう わたし の だいじょうぶ
佐藤：そうですね。私もちょっと乗るだけなら大丈夫でしたよ。

Sato: You're right. I was okay if it was only a little ride, too.

Situation 2

Haru and Yuka are walking in town, and happen to pass in front of a certain hotel.

Dialogue

ハル：あ、このこと、この^{まえ}前テレビで見たんだけど...

ユカ：どんなこと？

ハル：この^{あさ}朝ごはん、^{せかい}世界で^{いちばん}一番なんだって。

ユカ：^{なに}何が^{いちばん}一番なの？

ハル：^{せかい}世界で^{いちばん}一番おいしいんだって。

ユカ：^{あさ}朝ごはんが？ ^{いったい}一体どんな^{りょうり}料理が^で出てくるの？

ハル：テレビで見た^み限りでは、^{べつ}別に^{ふつう}普通の^{あさ}朝ごはんって^{かん}感じだったんだけど。

ユカ：^み見たことないものとか、^で出てこないの？

ハル：うん、^で出てこなかったよ、テレビでは。

ユカ：じゃあ、^{りょうり}料理する^{ひと}人が^{すご}うまいってこと？

ハル：うん、たぶん。^{ふつう}普通の^{あさ}朝ごはんを、^{せかい}世界で^{いちばん}一番の^{あじ}味に^か変えるゴッドハンドみたいな。

ユカ：そう聞くと^き興味^{きょうみ}出てきたよ。

ハル：^{いったい}一体どんな^{あじ}味なのか、^{わたし}私、^{きょうみ}すごく興味あるんだよね。

Breakdown

Haru: あ、このこと、この^{まえ}前^みテレビで見たんだけど…。

Haru: Ah, I saw something about this place on TV before...

Yuka: どんなこと？

Yuka: What about it?

Haru: この^{あさ}朝ごはん、^{せかい}世界で^{いちばん}一番なんだって。

Haru: The breakfast here, it's the best in the world, they said.

Yuka: ^{なに}何が^{いちばん}一番なの？

Yuka: The best at what?

Haru: ^{せかい}世界で^{いちばん}一番おいしいんだって。

Haru: The most delicious in the world, they said.

Yuka: ^{あさ}朝ごはんが？ ^{いったい}一体^{りょうり}どんな料理^でが出てくるの？

Yuka: The breakfast is? Just what kind of dishes do they serve?

- ^{いったい}一体 (what) the heck; (why) in the world; (who) on earth
- ^{りょうり}料理 cooking, dish; ^{りょうり}料理する to cook

Haru: テレビで見た^み限り^{かぎ}では、^{べつ}別に^{ふつう}普通の^{あさ}朝ごはん^{かん}って感じ^{かん}だったんだけど。

Haru: As far as I saw on TV, it just seemed like a normal breakfast.

- ^{かぎ}限り limit; as long as, as far as: ^{わたし}私^しの^{かぎ}知ってる^{かぎ}限り^{さとう}では、^{さとう}佐藤^{ひと}くんはいい人だよ。 As far as I know, Sato-kun is a good person.

Yuka: ^み見たこと^でないものとか、^で出てこ^でないの？

Yuka: Nothing came up that you've never seen before?

- ~こと[が]ある to have experience of... (after the past tense); there are times when..., sometimes (after the present tense) e.g. ^いそこ^いに行った^いことがある = I have been there; ^いそこ^いに行く^いことがある = I sometimes go there

Haru: うん、^で出てこ^でなかったよ、テレビでは。

Haru: Yeah, nothing (like that) appeared on TV.

ユカ：じゃあ、料理する人がすごくうまいってこと？

Yuka: So, that means the person who cooks is really skilled, then?

ハル：うん、たぶん。普通の朝ごはんを、世界で一番の味に変えるゴッドハンドみたいな。

Haru: Yeah, probably. Something like the hand of God, that can turn normal breakfast into the best taste in the world.

- ^{あじ}味 flavor; taste
- ゴッドハンド hand of God
- ~みたいな indicates one's giving an example or (approximate) clarification; like (as in 'such as'); ^{でき}出来ない、みたいな。Like, I can't do it.

ユカ：そう聞くと興味出てきたよ。

Yuka: Hearing that has piqued my interest.

- ^{きょうみ}興味 interest

ハル：一体どんな味なのか、私、すごく興味あるんだよね。

Haru: I'm so interested in what on earth it tastes like.